

会議の経過

露木課長	<p>1 開会</p> <p>皆様、こんにちは。定刻より若干早いですが皆様お揃いですので、ただ今から令和元年度第2回大井町総合教育会議を開催いたします。私は、本日司会を務めさせていただきます総務安全課長の露木と申し上げます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは早速、次第に沿って進めてまいります。</p> <p>「次第2 町長あいさつ」でございます。小田町長よろしくお願いいたします。</p>
小田町長	<p>2 町長あいさつ</p> <p>皆様、こんにちは。日頃は、町の教育行政に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、本日は今年度第2回総合教育会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>この総合教育会議は、地方公共団体の長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的として、首長と教育委員会の協議と調整の場であります。教育は人づくりにおいて、大変重要な要素でありますし、教育分野が幅広いものであることを考慮いたしますと、ここにお集まりの教育委員の皆様方と、町の教育について協議を尽くすことは大変有意義であり、町の教育のあるべき姿を共有するためには、必要不可欠なものであると考えております。私も皆様の御意見に耳を傾けてまいりたいと思っておりますので、これまで同様、御力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、令和元年12月3日付け大井町議会 教育福祉常任委員会から御提言いただきました～子どもの規則正しい生活習慣について～を協議いたします。</p> <p>限られた時間ではありますが、忌憚のない御意見をお聞かせくださるようお願い申しあげまして、私からのあいさつといたします。よろしくお願いいたします。</p>
露木課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>さて、本日の出席者でございますが、御手元に配付させていただいております次第の裏面でございます「出席者名簿」のとおりとなっております。本日は、全員の出席をいただいておりますことを、この場を借りて御報告させていただきます。</p> <p>それでは、「次第3 協議・調整事項」に移らせていただきます。大井町総合教育会議運営要綱第2条第1項の規定により、議長は町長</p>

<p>小田町長</p>	<p>となりますので、これからの進行は小田町長にお願いいたします。</p> <p>はい。それでは、私が議長を務めさせていただきますが、会議の性格上、私からも意見を述べさせていただくことがあろうかと思っておりますので、予め御了承ください。</p> <p>3 協議・調整次項</p> <p>(1) 令和元年12月3日 大井町議会 教育福祉常任委員会 政策提言書～子どもの規則正しい生活習慣について～を受けて</p> <p>それでは(1)「令和元年12月3日 大井町議会 教育福祉常任委員会 政策提言書～子どもの規則正しい生活習慣について～を受けて」を協議していきます。</p> <p>この提言書につきましては、教育福祉常任委員会が学校現場における現状と課題を研究テーマに、平成31年2月から11月にかけて教育総務課やPTA連絡協議会との意見交換会や、北海道帯広市と日高町の行政視察、また総合教育会議の傍聴を行うなど、本町の未来を拓き次代を担う子どもたちが、学力・体力の向上と心の成長を目指し、生きる力を育む取り組みとして、御提言いただきました。提言の中にもありますように、子どもの規則正しい生活習慣は、家庭からであり乳幼児からの家庭教育力が重要だと考えております。</p> <p>また、提言には「家庭教育を支援する施策の基本となる事項を定め、行政、学校、地域などの役割を明確にし、各種事業を総合的に推進するための方策を講じること。」とあります。そのことからまず私から、「おおいきらめきプラン～大井町第5次総合計画～」の教育に関する位置づけについて、簡単に説明をさせていただきます。</p> <p>本町といたしましては、現在、「おおいきらめきプラン～第5次総合計画～後期基本計画」を取り組みの羅針盤として進めております。</p> <p>まずは、重点施策の大井町成長戦略の4本柱の1つとして、教育環境の整備において、次世代を担う子どもたちのために教育・保育環境の充実を掲げております。</p> <p>次に、施策別計画において、第4節健康・福祉、第6節教育それぞれに現状と課題及び施策の方向について掲げております。</p> <p>第4節健康・福祉では、子どもの健やかな成長のため、保護者の育児に関する知識の普及等に努めるため、健康づくりの推進、母子保健事業の充実、生活習慣病予防の強化、健康づくり推進体制の整備を掲げ、また、より質の高い保育園運営の推進と児童虐待の防止・早期発見のため地域住民との連携・協力体制の整備のため、子育てへの支援、保育体制・内容の充実、子どもの医療・手当制度の実施、虐待防止対</p>
-------------	--

	<p>策の充実、放課後児童健全育成の推進を掲げております。</p> <p>第6節教育では、学校教育として幼稚園から小・中学校までの円滑な接続に努めるため、幼児教育の充実、ニーズに即した幼稚園運営の推進、教育活動の充実、情報教育の推進、支援教育の充実、施設・設備の整備、幼稚園・保育園・小・中学校連携の充実を掲げ、また、社会教育として青少年の健全育成を推進するため、青少年の健全育成の充実、学習機会の提供、自主的な学習の支援、地域に根ざした学習環境づくり、生涯スポーツ活動の充実、スポーツ施設の充実を掲げております。以上で、総合計画における教育の位置づけについて、説明は終わりとさせていただきます。</p> <p>次に、これらの施策を踏まえて、乳幼児期からの本町の取り組み及び家庭教育力の向上について、説明者から順を追って説明をお願いいたします。まず初めに、子育て健康課 三留主任保健師から妊娠期からの親の関わり方の取り組みについて説明をお願いします。</p>
<p>三留主任保健師 矢吹子育て健康課長</p>	<p>(※パワーポイントで、三留主任保健師から母子保健事業について説明をした。)</p> <p>(※パワーポイントで、矢吹子育て健康課長から大井保育園の取り組みについて説明をした。)</p>
<p>小田町長</p>	<p>続きまして、生涯学習課 浅井社会教育主事から幼児期から青年期までの家庭教育力の取り組みについて説明をお願いします。</p>
<p>浅井社会教育主事</p>	<p>(※パワーポイントで、家庭教育の支援、教育委員会とPTAとの懇談会について説明をした。)</p>
<p>小田町長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今、続けて3つ説明をしましたが、説明を受けましてわからない事など質問をお受けしますがどうでしょうか。</p>
<p>石井教育長職務代理者</p>	<p>先程、子育て健康課の説明で、赤ちゃん健康相談があると伺いました。0歳児から4歳児ということですが、こちらの対応はどれくらいの頻度で行われているのか伺いたいのですが。</p>
<p>三留主任保健師</p>	<p>赤ちゃん健康相談は、月に1回第4木曜日の午前中に行っております。予約は不要ですので、相談や体重の測定など、その時間内にお越しただければ受けられます。</p>
<p>石井教育長職務代理者</p>	<p>その後の説明の中で、育児の相談相手は誰ですかの回答の中に、インターネットと太字で表示されています。しかし電話相談は0、保健師さんや助産師さんも0なんですけども、インターネットだとこれくらいの相談件数があるので、インターネットでの相談は難しいのでし</p>

<p>三留主任保健師</p>	<p>ようか。メールでの相談とか。</p> <p>こちらでメールでの相談を受け付けるときもありますが、なかなか状況がわかりづらいので、実際には直接お会いしたり、御電話をしたり確認をさせていただいて、その方とお話しをさせていただいております。この集計項目だと3か月健診時に報告することになっておりますので、まだ外出がままならない時に聞いた項目になっておりますのでインターネットという回答があったのかと思っております。他の健診でもこのような集計を行っておりまして、保健師や助産師と回答をいただく方もいらっしゃいます。ただ、今回の回答では少なかったもので、事業を拡充するためにも0というのは課題だと思っております。</p>
<p>小田町長</p>	<p>よろしいでしょうか。その他に質問があればどうぞ。</p>
<p>小島委員</p>	<p>すこやか学級を開催されていて、若い親御さんにとって参考になっているのではないかと思います。その中で、絵本とわらべうたの会の事ですけれども、同年齢の子ども達ごとに2つのグループに分けて読み聞かせやわらべうたを歌ったりして、親子のスキンシップが深まってとてもいい機会になると思います。参加されている方は、多いのでしょうか。もう1つ、いつも2つのグループで行われているのでしょうか。</p>
<p>大森生涯学習課長</p>	<p>平成30年度の実績になりますが、年間18回開催しまして前期と後期に分けております。前期につきましては311名、後期につきましては230名が参加しております。1回当たりにすると17名となります。グループに関しては、1歳6か月までと1歳7か月からと時間を分けて開催しております。</p>
<p>小島委員</p>	<p>その中で悩み事の相談の機会や仲間の親御さん同士の情報交換などの機会は持たれているのでしょうか。</p>
<p>浅井社会教育主事</p>	<p>私自身、参加させていただいたのですが、回を重ねるごとに徐々にお母さん達も仲良くなって、その後になかなか歯ブラシをしてくれないのでどうやったらいいとか、絵本選びの時に子育て経験が豊かな方、年配の方に相談したりしています。また、子育て健康課で気になるお子さんについて参加の声掛けをさせていただいております。</p>
<p>中條委員</p>	<p>家庭教育学級についてです。これは各幼・小・中学校のPTAに委託してということですが、内容も各幼・小・中学校のPTAで決めて</p>

<p>浅井社会教育主事</p>	<p>いると思います。その回数はどうでしょうか。それからパワーポイントで見る限り、あまり参加者が多くなさそうに見えるのですが、差し支えなければ家庭教育学級での参加者の集計がありましたら教えていただきたいと思います。</p> <p>各幼・小・中学校ごとですが、幼稚園ですとお母さん達の結びつきが強くて、ある幼稚園では5回も開催しているところがあります。平均すると小・中学校共に2～3回の開催となっております。PTAに委託している関係で、できるだけ多くの保護者に参加していただきたいと思っております。特に食育関係のクッキーやパン作り、あとはエアロビや骨盤ヨガでありますと30名ぐらいの参加者があります。ただ、講話などになると20名に達しない状況です。</p>
<p>夏苺教育長</p>	<p>家庭教育学級の事です。幼・小・中学校の保護者を対象としていますが、参加者の状況を担当者としてはどう考えていますか。参加者が予定より多いとか、参加状況など。</p>
<p>浅井社会教育主事</p>	<p>平成30年度の集計ですと、開催回数が減少しています。学校が協力して学校公開において湘光中学校の吹奏楽部に来ていただくと保護者の参加が多くなりますが、成人委員が企画すると参加者が少ない状況になります。なお小・中学校の参加者の合計延べ人数は943名でした。</p>
<p>牧野委員</p>	<p>家庭学習に+ONE!についてです。昨年、発行されたと思いますが、その後の意見・調査は行ってないですね。それから、どのように変化したかがわかるといいのですが。</p>
<p>浅井社会教育主事</p>	<p>町PTA連絡協議会がありますので、そこで各学校に投げかけたいと思います。</p>
<p>夏苺教育長</p>	<p>子育て健康課の母子保健事業の関係で、保健指導の対象は配偶者も加えるとなっておりますが、実際はどの程度の参加があったのかということ、それから世帯数の変化がある中で、おじいちゃんやおばあちゃん関わっていた頃の虫歯という課題から変わってきたと説明していましたが、課題がどのようなもの変わったのか教えていただきたい。</p>
<p>三留主任保健師</p>	<p>配偶者に関しては、加えることとしております。マタニティスクールに関しては、夫と一緒に参加する機会がありますので、参加をし</p>

	<p>ていただいております。平日に実施していきまして2割程度の参加状況となっております。現在のところ、検診等で以前に比べると男性がお子さんを連れて来ていると感じております。変わらず同じような話をさせていただいておりますが、男性の支援が課題だと思っております。それから個別の支援が必要な方が増えている傾向があり、一人ひとりお子さんの様子も違いますし、妊娠・出産に対する受け止め方も変わってきている状況もありますので、皆さん御一緒というよりも個別の支援を実施しております。</p>
小田町長	<p>質疑は、おおよそ出たかと思しますので、これから質疑と説明の内容を踏まえて、提言書では子どもの規則正しい生活習慣について、それぞれの役割について提言されております。そういった意味で今後、大井町として妊娠期から青年期まで家庭の関わり方だとか地域や学校との関わり方について、どのようにしていくべきか、どうあるべきか御意見をいただいた中で皆様と協議をしていきたいと思っております。難しい事だと個人的には思っておりますが、一つの方法で右向け右という時代ならば、こうやりましょうでいいのかもしれないかもしれませんが、多様化はきれいな言葉かもしれませんが考えようによっては、やりたい放題と考える方もいますし言いたい放題といえる気もしますけれども、そういった時代背景がある中において、でも学校教育、家庭教育の在り方というのを現状の一部でしか説明しておりませんが、日頃皆様が見てきた中で今後どのようにそれぞれの役割を果たすべきか。幅が広すぎて大変なんでしょうけれどもできる限り考えていく、共有していく必要があると思っておりますので、忌憚のない意見をお願いいたします。</p>
石井教育長職務代理者	<p>大井町は、先程スマホの所持率が非常に高いと指摘がありましたが、今更、持ちちゃだめだという時代ではないと思っております。結局スマホを持っていることによって安否確認ができたり、親がお子さんの行動を確認するという意味でも非常に有効なものになっています。スマホを持っていることが悪という時代ではないと思っております。ただ実際スマホを何に使っているかということが問題であって、先程、御説明にもあったように、使うことに関するルールだとか、親子の約束を守ることに移行してきていると思っております。よく新聞でも、これからはスマホを使って授業をする時代になってくると思っておりますし、タブレットも公には買わなくてもスマホで授業をする時代になってくるかと思っておりますので、スマホ＝悪という時代ではないと思っております。したがって、その利用に関するルール作りが重要ではないかと思っております。</p>
小田町長	<p>スマホをどのように使うべきか一つの規則的なものを決めておか</p>

<p>中條委員</p>	<p>ないと、またそれを浸透させないと子ども達にとって悪影響が出るだろうと。ルール作りが必要だということでしょう。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>いろいろなお話を聞いていて、これが一番大事なのかなと思うことは、親の子どもに向かう姿勢ですよね。私も孫がいて公園に連れて行くと若いお母さんが子どもを連れて一緒に遊びに来っていますが、お母さんは子どもそっちのけでスマホに夢中になっている場面をよく見かけます。やはり子どもからしてみると、うちのお母さんは私よりもスマホが大事なんだと積み重なっていった時に、子どもの育ちに何らかの悪影響を与えるのではないかと思います。それは今までの経験の中でいろいろな子ども達を見てきても、例えば非常に貧しくてひとり親の家庭でも親が一生懸命愛情をかけていると子どもは曲がらないんですよね。家庭学習に+ONE！も早寝・早起き・朝ご飯で子どもに関わる時間を増やしていきましょと、確かに私も子どもと関わる時間を増やすのが良いと思いますけれども、今の社会の仕組みの中で共働きで働くと子どもと関わる時間を増やしたくても増やせない家庭がたくさんあると思います。では親が共働きしていて子どもがほっぽられると、その子どもがダメかという私は必ずしもそうではなくて、子どもはお父さんお母さんが自分のために一生懸命働いてくれているんだと、何らかの形で子どもに伝わると子どもは真っすぐ育つと思います。そういう親の力を全ての親にどういう形でメッセージを与えたらいいのか、それを考えていくことが凄く大事なのかなという気がします。</p>
<p>小田町長</p>	<p>親の子どもに向かう姿勢ですね。</p>
<p>中條委員</p>	<p>先程、出ていましたが、子は親の背中を見て育つ。まさにこれに尽きる気がしますね。</p>
<p>小田町長</p>	<p>そういった価値観を親も共有する、共通の認識を持つ雰囲気作りが重要だと、そこまで言っていないかわかりませんが。</p>
<p>夏苺教育長</p>	<p>今の話に関連して、一つの手段としてリーフレットになると思います。これは2015年その当時話題になったのはスマホの使い方でした。先程、説明にもありましたように町全体として例えば21時までにしましょとかそういったものでなくて、まず買い与えたのは親であり保護者である中で、当然約束事をもって与えているでしょうから原点に戻って考えてもらいたい。そういう意味合いを込めて、どちら</p>

	<p>かというメッセージ的なものをその当時送りました。例えば、ガイドラインを5つ作りまして家族でじっくり話し合い、ルールを作らしましょうとメッセージを送りました。併せてリーフレットを使って学級懇談会をそれぞれの小・中学校で行っていただきました。それから経過して改めてこういったものを作成して、保護者に御家庭に見直してみようということで配布しました。先程、牧野委員さんから御質問がございましたが、そこまで分析はできていませんけれども、一つの方法として目に留めていただければいいかと思います。本来ならば直接親御さんにお話しが出来ればいいのですが、なかなか全体への難しさはあるわけです。情報モラル教育をここ3年程取り組んでいる中で、内容も子ども達だけではなくて保護者へのメッセージということで、学校公開等で一緒に考えていただく取り組みをしております。こういったものを御家庭でどう受け止めてお子さんとルールを確認していくか、それは一場面であって生活習慣にいろいろつながっていくものだと思いますので、きっかけ作りとして取り組んでおります。</p> <p>もう一点よろしいでしょうか。学力学習状況調査の結果の報告をさせていただきました。この提言書の中にも学力学習状況調査という教科の点数ばかりに目がいきますが、そうではなくて質問紙の事項を取り上げていただいてその関連性もまとめていただき、そして提言いただいた事は本当にありがたく思っております。特に質問紙の情報は大きな内容であると思います。それがこれからの学校にどうつながっていくか毎年分析をして対応をしているところでもあります。その中で今回の生活習慣と学力の関係は、朝ご飯を食べると学力に関係してくるといいますが、私は朝ご飯を食べているから学力が伸びるとは言い切れないのではないかと思います。あくまでも生活習慣の一場面であって朝ご飯だけではなくて、様々な生活習慣を行っている中でしっかり出来ている、そういった事が学力につながっているのではないかと私自身は捉えております。ですから、早寝・早起き・朝ご飯とよくフレーズが出ておりますが、一つのきっかけであってそれが全てではないとの思いがあります。これらをメッセージとしてやっていかなければならないのかと感想でございます。</p>
小田町長	<p>早寝・早起き・朝ご飯とよく言われますが、それが本当に学力につながっているかどうか立証できない部分かもしれません。統計を取るとそうなるのかと思います。</p>
小島委員	<p>朝ご飯とスマホをやる時間と学力と関係があるということで、やはり教育長さんが言われましたけれども、朝ご飯は早寝・早起きでないと朝余裕をもって朝ご飯を摂ることができないと思います。そのため</p>

	<p>には、早く寝なければ睡眠時間を取らなければいけないと思います。スマホを長時間やっているると睡眠時間が取れないことになり、それが関わってくるのではないかと思います。一番の原因となっているのが、スマホなのかなと感じています。家庭でお子さんと保護者が一緒に話し合いの機会を作って各家庭でルールを作っていると思いますが、子どもたちが低学年の頃は守られていると思いますが、子どもたちが成長するにつれて学年が上がるにつれて保護者と子どもとの間の差が広がっていきることがここに書かれています。家庭でルールが守れなくなったときに保護者はそこで再度ルールを見直すのでしょうか。家庭の事なのでよくわかりませんが、その都度見直す必要があると思います。</p>
夏苺教育長	<p>実際、PTA懇談会で望ましい生活習慣の在り方の中で、スマホとの関わり方は小・中学校ともに各学校ごとの話し合いで出ていることから小島委員さんの御指摘のとおりだと私も感じております。それから先程の朝ご飯について橋本学校給食センター所長の所管ですが、食育や栄養と関係していることは確かであります。あくまでも生活習慣という意味で言わせていただいたので誤解のないように述べさせていただきました。</p>
石井教育長職務代理者	<p>学校でも朝の会などで、昨日は何時に寝ましたか、今日は朝何時におきましたかということ先生が子ども達に直接聞いていただくことも大事なんじゃないかなと思います。家庭にはコントロールをできない部分は学校で聞くことで、友達が早く寝たんだということ聞くと、その影響で意識が変わるということもあると思います。そういう部分を朝の会などで先生にも少し意識していただくことも大事なのかなと思います。</p>
小田町長	<p>些細な事でも子ども達には意識付けになるということですね。</p>
石井教育長職務代理者	<p>もう一つありまして、学力学習状況調査ではどうしても点数が悪いことに目が行きがちだと思います。たぶん4月に行っていて学年が変わった直後だと思います。先生にとっても、これをどう改善したらいいのか考えていただくいい機会だと思います。国はこういう問題を出しているということを先生も勉強して、今年の授業に活かしていくことが大事だと思います。結果が良い悪いだけではないと思います。毎回、大井町は悪いだとかこの町が良いだとかの話になりがちだと思いますが、学校で気にしていただけないかなと思います。</p>

小田町長	<p>これについて教育長はどうでしょうか。問題等を見ていると思いますが。</p>
夏苜教育長	<p>全国の調査結果の発表が8月、以前は10月でしたか少し遅かったのですが、当然それはその後の授業や生活等の改善に活かすという趣旨で早まっております。教育委員会では各学校ごとに分析してもらったものをまとめて、担当者の会議等で取り組みを確認しているところです。</p>
中條委員	<p>家庭教育を支援するのは難しいと思います。先程からお話を聞いている中で、行政も学校もいろいろな事をきめ細かく取り組んできていると思います。しかし、家庭教育学級にしてもすこやか学級にしても参加者を見るとまだまだ少ないと思います。これからどう広げていくかと考えたときに、やはり希望者を募っていたら来る人は来ますが、来ない人は来ないわけです。それをみんなに浸透させるには、みんなが集まる機会がありますよね。例えば就学時検診には必ず全ての保護者が来ますよね、そして学校説明会、ほとんど来ますよね。そういう全員が集まる場面をピックアップして、ここの段階ではこういう話をしようとか、小学校のこの段階ではこういう話をしようとか、中学校の説明会ではこういう話をしようとか、MAX保護者が集まる場面で効果的な話をしていく。それでもなかなか浸透していくのは難しいとは思いますが、ただ人を集めて何かをやるということよりも、場面を見つけてピンポイントでその都度タイムリーな内容でいろいろな事を啓発していくような仕組み作りも必要かなと思いました。</p>
小田町長	<p>こういう講習会を開催しますといっても、来る人は関心がある人で言わなくてもわかっているような人で、聞いてほしい人が来ない状況はあるんだろうと思います。チラシを出してもしっかり見る人と何をやりたいチラシなのか理解する人と、右から左にいつてしまう人もいらっしゃるし、なかなか思うようにはいかない。それを何とかするのが役割だといわれればそれまでの話ですが、そういった意味でもみんなが必ず来るような場面をうまく活用してアピールできるような仕掛けが必要ですね。</p> <p>子どもの規則正しい生活習慣について、なんとか対策を立てようと、方策を講じることという提言なので、私が思うには先程の説明にもありましたように、それぞれの場面で乳幼児それから小・中学校で生活習慣も含めて、それぞれの場面ではしっかり取り組んでいる、それなりの取り組みは行っていると理解してもいいのかなと思います。トータルで見て生活習慣によって、規則正しい生活によりしっかりと自立し</p>

<p>夏苜教育長</p>	<p>た子どもは育つような方策は他にあるのかどうか。先程、お話が出たように聞く耳を持たない人もいる、目を向けない親もいる、そういった現実がある中で町の役割として教育委員会の役割としてどのような方策を講じられるのかと問題提起をされているのですが、難しいと私は思っております。やるべきことをやると、その積み重ねでやっていくのかと私は個人的に思っております。特別なこれをやればガラッと変わるそんな方策はなかなかないのかと思います。町は何らか考えなければならぬのでしようが。</p> <p>実際のところ一番の根幹を成すところは、家庭、保護者と子どもとの関係作りがどうなのか、当然保護者の意識がどれだけ関心を持っているか、そこが一番大事なところだと思っております。先日の新聞で先程のスマホの話が出ましたが、香川県議会ではゲーム1日60分条例が報道されていましたが、それも賛否両論あります。それから県の青少年保護育成条例で、そこには保護者の責務と明記されています。規定はされていても一切それを受け止めて行くと、当然それは教育委員会も一つではありますがどうであるかが一番のポイントであると思います。教育委員会としても子育て健康課としても、様々な方策を講じている中でやはりより多く広く広めていくことは大事だと思いますし、その広め方の方策をどうしていくかということが先程中條委員からございましたが、そういう場面を捉えて対処していかなくてはならないと思っております。教育員会も先程情報モラル教育を保護者が集まる学校公開等を活用してやりたいと、それから説明会のところでは触れていますが、ポイントを絞ってやっていくことが大事なのかなと思っております。なお、PTAとの懇談会においてもPTAそれぞれが取り組んでいるところもございます。PTAの総会というのも出席が厳しいところもあるようですけども、それぞれの立場の中で引き続き地道に取り組んでいくしかないのかなと、委員皆様の御発言をいただいて改めて感じたところでございます。</p>
<p>小田町長</p>	<p>今の意見を聞いた中で特段大井町の現状においては、こういう方策が絶対良いというのは今のところ特にはないというか思いつかない。それと同時に今現在やっている施策をしっかりと、より広げるようにしっかりと継続しながらやっていくこと以外には他に打つ手はないだろうと、まとめてしまうといけないんでしようが、そんな気がしますがどうでしょうか。何か特別な方策があればお聞きしたいのですが、時間も迫ってまいりましたので今日はこんなところでいいでしょうか。</p>

<p>露木課長</p>	<p>それでは、この案件についての協議は、これで終了させていただき、 (3) その他がありますが教育委員の皆様から、何かこの場で協議の 必要がある要件がありましたら御発言をいただきたいのですが。 それでは協議すべき事項も特にないようですので、これで議長の任 を解かせていただきたいと思います。貴重な御意見をお聞かせいただ き誠にありがとうございました。それでは司会に進行を戻します。</p> <p>4 閉会</p> <p>それでは長時間にわたる御協議、大変御疲れ様でございました。 さて、本町の総合教育会議につきましては、年間2回の開催を定例と しております。したがって、令和元年度の総合教育会議につきまし ては今回が最後となります。次年度につきましても、期日等が具体的 になりましたら、お知らせしますので、その際は御出席よろしくお願 いいたします。</p> <p>それではこれをもちまして、令和元年度第2回大井町総合教育会議を 閉会いたします。どうもありがとうございました。</p> <p>閉会時刻 14時55分</p>
-------------	--